

第19回全日本テコンドー選手権大会パラ・キョルギの部についての注意事項

1、階級について

世界テコンドー連盟（WT）の規程に準拠したパラテコンドーでは、障がいの度合いによるスポーツクラス（K41、K44）と、階級が5つ（男子-58 kg/-63kg/-70 kg/-80kg/+80 kg、女子 -47 kg/-52 kg/-57kg/-65kg/+65 kg）にわかれています。今大会では、このスポーツクラス区分は設けません。また、参加選手の人数により、合同級を設けるなど、WT 規程の階級区分とは異なる区分で階級を分ける可能性があります。

2、クラス分けについて

上記のとおりパラテコンドーでは障がいの度合いによる区分であるスポーツクラスがあります。必要最小障がいを満たしていない選手は、パラテコンドー選手として国際大会への参加資格がありません。

今大会では、当協会主催大会に初めて参加される選手を対象とし、クラス分け審査を行います。当協会の定めた最小障がい基準にそって行いますので、今大会のクラス分け審査で最小障がいを取得していると判断されても、世界テコンドー連盟のクラス分け審査に合格したことにはなりません。

今後日本代表選手として選ばれ、国際大会に出場する場合には、国際大会時に行われる国際クラス分け審査（インターナショナルクラシフィケーション）を受けなければなりません。この国際大会時におけるインターナショナルクラシフィケーションで「資格なし（NE）」と判断された場合には、日本代表選手資格の取り消しと国際大会派遣にかかった経費（旅費や滞在費など）は個人精算（自費）となります。

3、2026 年度強化指定、次世代育成選手選考について

今大会は、来年度の強化指定選手と次世代育成選手の選考会を兼ねております。

4、ルールについて パラテコンドールールは、健常者ルールと同じ場合が多く、違う部分のみ下記に述べます。

- ①上段（オルグル）禁止、但し相手選手が低い姿勢をとって蹴りがあたった場合は、低く構えた選手が安全ではない行為を犯したとしてカムチョンになる。
- ②パンチ（中段）は行ってもいいが、ポイントにはならない。
- ③ティッチャギ、ターンが4点、その他の蹴りは2点。
- ④試合時間はベストオブスリー制の2分×3ラウンド（2ラウンド）インターバル1分で行う。
- ⑤ランダム計量については、競技者の各出場階級体重に対しての+5%までを許容値とする。

Minimum Impairment Criteria (MIC) Kyorugi 40 PI Class : パラテコンドーの最小障害基準

The MIC defines how severe an athlete's Impairment must be to be eligible for Para Taekwondo Kyorugi. 最小障がい基準は、選手がパラテコンドーのキョルギに参加するために必要な障害の程度を規定しています

● Impaired Muscle Power 筋力低下

✓ Loss 1 of three (3) muscle grade points in shoulder abduction and/or flexion. 肩関節の外転およびまたは屈曲の筋力が MMT3 未満

✓ Loss of two (2) grade points of muscle strength in elbow flexion and/or extension 肘関節の屈曲およびまたは伸展の筋力が MMT2 未満

● Limb Deficiency 四肢欠損 ✓ Upper Limbs -Amputation of one hand through the wrist (no carpal bones) 上肢-手首またはそれを上回る切断（患側に手根骨は存在しない）

✓ Unilateral dysmelia in which the length of the affected arm measured from acromion to fingertip is equal in length or shorter than the combined length of the humerus and the radius of the unaffected arm. 患側の腕の肩峰から指先までの長さが、非患側の上腕骨と橈骨の長さを合わせた長さに等しいか、それより短い片側性の形成不全

● Impaired Passive Range of Movement 他動的可動域の障害

✓ Elbow flexion contracture; arm length is measured from acromion to longest finger/end of affected arm and is $\leq$ the distance measured from acromion to radial styloid on unaffected arm with the elbow extended passively to the longest. OR complete arthrodesis of the elbow. 肘関節屈曲拘縮；患側の腕の肩峰から患部の最長指または末端までの長さが、非患側の腕の肘を受動的に最長まで伸ばした状態で肩峰から橈骨頭までを測定した距離以下とする。または肘の完全関節固定

The following methods are used for assessing an athlete's Impairment in Para Taekwondo Kyorugi Eligible Impairment Assessment Method

パラテコンドー・キョルギでは、選手の障害を評価するために以下の方法が用いられます。

■ Impaired Muscle Power-Daniels and Worthington Muscle testing techniques of manual examination, 8th edition or above

■ Limb Deficiency-Direct measurements and use of anthropometric formulae.
Formulae used from; Continue R, body segment parameters, table 1, pg 47,
Artificial Limbs, spring volume 1964. Committee on prosthetics research and
development.

■ Impaired Passive Range of Movement-Measurement of PROM with use of goniometer
and standard landmarks in the reference range for Para Taekwondo using Degrees
(Clarkson H.M. Musculoskeletal assessment joint range and manual muscle strength,
2nd edition. Philadelphia, Lippincott Williams and Wilkins, 2000)

※参考訳とさせていただきます。

パラテコンドーに関する問い合わせ先 全日本テコンドー協会事務局
(japan2005tkd@ajta.or.jp)